



大好きな久米島を絵で表現
JTAあおぞら図画コンクール

11月2日、具志川庁舎においてJTAあおぞら図画コンクールの表彰式が行われました。久米島から4点が入賞し、琉球エアークミューターの波平進取締役から賞状と副賞が授与されました。コンクールは「わたしの大好きな島」をテーマに県内の離島および与論町、奄美市などから計290点が応募。久米島からの入賞者は次のとおり。【優秀賞】国吉大雅(清水小1年) 山川大空(大岳小4年) 【佳作】白道柚葉(久米島小5年) 赤嶺勝永(仲里小5年)

島の風をきり駆け抜ける
第7回シュガーライド久米島

11月26日、第7回シュガーライド久米島2017が久米アイランドを発着点として開催されました。大会は島を2週する90キロのアスリートコース、ぐるっと一周45キロコース、35キロの観光コースの3コースに県内外から約100人が参加しました。35キロの観光コースは今年新設され、きつい坂道はバスで移動し観光スポットをガイドとともに巡るコースで久米島の豊かな自然のなかサイクリングを楽しみました。



日本一の久米島のクルマエビを全国へ
久米島クルマエビフェスタ

11月25日、水産加工処理施設前にて「第8回久米島車エビフェスタ」が開催されました。冷凍車エビの販売には長蛇の列ができ、車エビの掴み取りでは、多くの参加者が車エビをできるだけ多く捕まえようと水槽を駆け回る姿が見られました。ステージでは、島内のフラやダンスのほか、特別ゲストのMANAMIによる歌が披露され大人から子どもまで楽しんでいました。イベントでは来場者が見守る中、久米島車エビ拠点産地協議会により出荷式も行われました。



Rickie-Gのソウルフルな歌声に酔いしれる
#Kumejamin²一夜限り。秋の音の贈り物

11月18日にイーブ情報プラザで"Rickie-G"によるライブ(主催:team# Kumejamin²)が行われ、島内外から約180名が来場しました。天候不良により予定していた奥武島キャンプ場から会場を変更しての開催となりましたが、ライブのほか島内のダンスやフラの演舞もあり、来場者は楽しい時間を過ごしました。同イベントは島内の異なる分野で活躍する20~30代の青年メンバーが島を盛り上げようとチームを結成し、企画から運営までを手がけました。



加藤登紀子さんの伸びやかな歌声が響く
球美の里5周年記念イベント

福島の子どものための保養施設「沖縄・球美の里」の5周年記念イベント「加藤登紀子コンサート」が11月19日に開催されました。会場の具志川改善センターには開場前から長蛇の列ができ、町民や関係者約400人が来場しました。加藤さんは「沖縄・球美の里」の応援者のひとりで、コンサートでは、代表曲「百万本のバラ」など名曲を披露しました。同施設では、これまでに82回、のべ3,500人以上を保養しています。



風の帰る森プロジェクト始動
本館建築工事起工式

11月27日、風の帰る森プロジェクトの本館建築工事起工式が行われ、関係者約20人が工事の安全を祈りました。大田町長は「町民の皆様が期待していた中、少し時間は要しましたが無事スタートすることができました。業者の皆様には安全を徹底して無事に工事を完了してほしい」と挨拶しました。平成27年に始まった本プロジェクトがよいよ本格的に始動します。出資者の思い描いた「子ども達の交流拠点施設」を、町民や関係者らと一緒に創り上げていきましょう。



ペタンクや余興を楽しみ交流
うまんちゅ交流会

11月16日、旧久米島中学校体育館にて、うまんちゅ交流会(主催:久米島町障がい者家族会)が開催されました。今年度は大平特別支援学校久米島高等学校分校の生徒を含めた、当事者・ボランティア含め総勢122名の参加者が集いました。玉入れやペタンクなどのゲームや当事者・ボランティアによる余興、寸劇が行われ、会場は爆笑の渦に包まれました。参加者は「楽しかった」「充実した一日が過ごせた」「賞品がもらえてうれしかった」と声を弾ませました。



自分の記録にチャレンジ
ゆうあいスポーツ大会

第26回沖縄県ゆうあいスポーツ大会が11月25日(土) 県総合運動公園にて開催され、県内の知的障がい者らが出場。今回は視察研修も兼ねており、仲間や家族など多くの応援団が見守るなか、9名の選手のうち、8名がメダルを獲得しました。結果は次のとおり。上江洲由香(50M・銀) 山城渚(ソフトボール投げ・銅) 上間啓太(立ち幅跳び・銀) 喜納稔(800M・金) 嶺井れい子(ソフトボール投げ・金) 上江洲由香・喜久村信・稲嶺盛千代・神谷浩一(400MR・銅)

